



第7回 KECテクノフォーラム

系統連系のパワーエレクトロニクス

社会の持続的な成長のためエネルギー問題、地球環境問題は、喫緊の課題となっています。課題解決のため多くの技術開発が進められていますが、太陽光発電や燃料電池などの分散型電源を電力会社の電力系統に連系することでエネルギーの有効利用を図る技術への期待が高まっています。

今回のフォーラムでは、この分野の中核技術である系統連系インバーターと家庭用燃料電池を取り上げ、第一線でご活躍の方々を講師にお招きしご講演いただきます。

日 時	2014年12月10日 水 14:00 ~ 16:30
開催場所	電子会館 4階 会議室A (大阪市北区西天満6-8-7)
主催	一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 研究専門委員会
定員	先着 30名 (定員になり次第締切)
参加費	KEC会員... 3,000円 KEC非会員... 5,000円

プログラム

14:00	開会の挨拶 KEC 専門委員会推進部長 小笠原 一夫
14:05 ~ 15:10	<h3>系統連系インバーターの最新技術と動向</h3> <p>大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻 教授 舟木 剛 氏</p> <p>太陽光発電で得た電力を売電するためには、電力系統に連系するためのインバータが不可欠である。太陽光発電等の分散電源の導入が拡大すると、系統擾乱時に系統連系インバーターが一斉解列すると電力品質に悪影響を与える。このため運転継続の要件等が決められている。</p> <p>本講演では、このような系統連系のための要件および用いられている技術および、新材料パワーデバイスや汎用インバータについて概説する。</p>
休憩 (15分)	
15:25 ~ 16:30	<h3>家庭用燃料電池の現状と課題</h3> <p>パナソニック株式会社 先端研究本部 環境・エネルギー研究室 主幹研究員 伊藤 靖彦 氏</p> <p>燃料電池は、水素と酸素の持つ化学エネルギーを、直接電気エネルギーに変換するシステムであり、変換効率が高く、環境への負荷が小さいため、エネルギー危機、地球環境問題が顕在化してくる中、本格的な普及が期待されている。ここでは2009年度から一般発売され、市場導入が始まった家庭用燃料電池『エネファーム』を中心に、家庭用燃料電池の現状と、普及拡大に向けた開発状況、課題について紹介する。</p>
16:30	閉会の挨拶



エネファーム

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。予めご了承ください。

お問い合わせ

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 専門委員会推進部 事務局 柴田 賢一

TEL: 0774-29-9041 FAX: 0774-93-4564 E-mail: publication01@kec.jp

お申し込みは、申込書をメールにてお送りください。詳細は裏面をご参照ください。

お申し込み要領

申込方法

弊センター ホームページより参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、申込先アドレスまでお申し込みください。申込後、メールにて受付完了のご連絡をお送りいたします。

申込先

E-mail: publication01@kec.jp

送金方法

受付後、請求書をご送付いたします。請求書記載の指定銀行にお振り込みください。

問合せ先

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 専門委員会推進部 事務局 柴田 賢一
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2
TEL: 0774-29-9041 / FAX: 0774-93-4564 / E-mail: publication01@kec.jp

参加方法

参加証等は発行していません。
フォーラムにて使用するテキストは当日配付いたします。

その他

請求書発送後のキャンセルは原則としていたしかねます。
欠席の場合は代理出席を受け付けております。

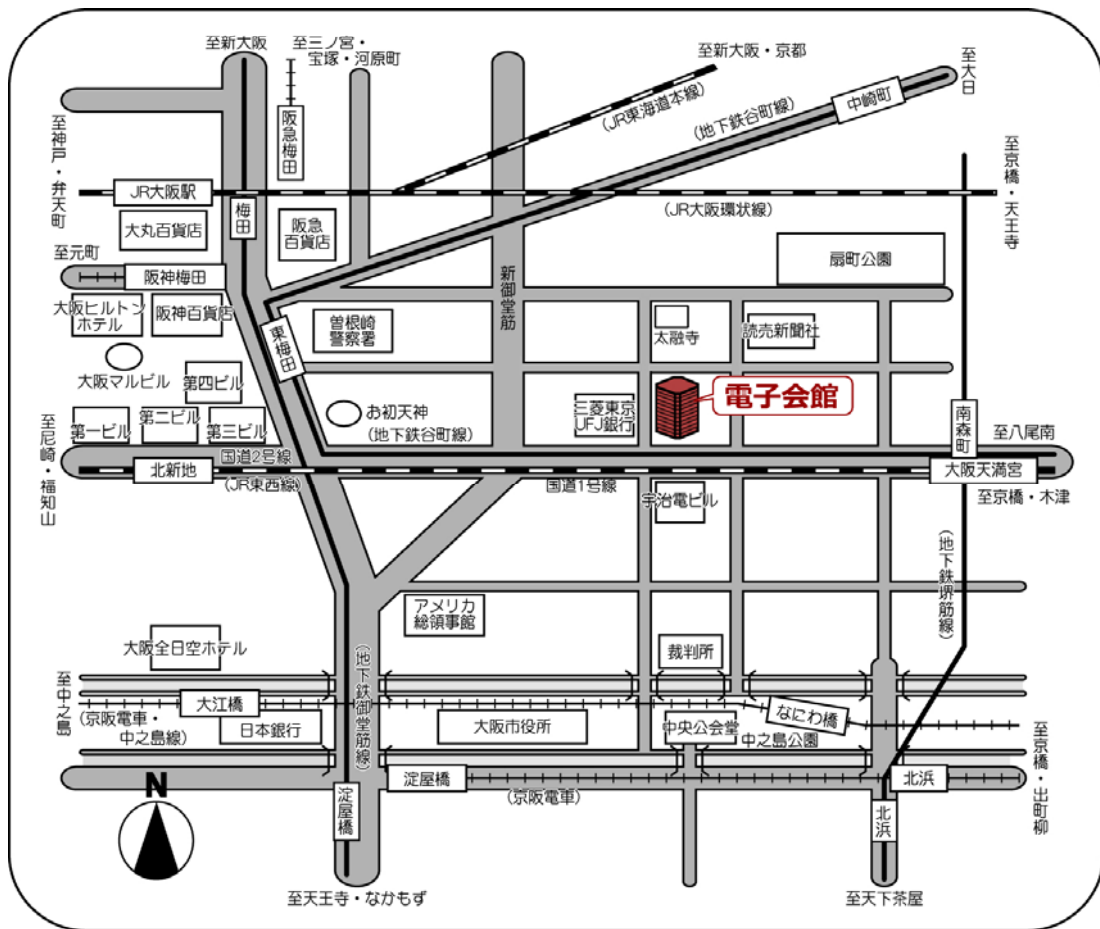
会場へのアクセス

電子会館 4階 会議室A

〒530-0047

大阪市北区西天満6-8-7

URL <http://www.kec.jp/wp/img/committee/map/denshi.pdf>



<アクセス>

【JR】北新地駅から徒歩10分 / 大阪駅から徒歩15分

【地下鉄】東梅田駅・南森町駅・淀屋橋駅から徒歩12分 / 梅田駅から徒歩15分

お申し込みはこちら

<http://www.kec.jp/seminar/ktf7/>